

日向市権現原浄水場更新事業 事業者選定基準

令和 8 年 7 月
日向市上下水道局

目次

1. 本書の位置づけ.....	1
2. 事業者の選定方法.....	1
3. 事業者選定の手順.....	2
4. 各審査の内容	3
(1) 参加資格審査.....	3
(2) 技術対話	3
(3) 提案書類の審査.....	3
(4) 最優秀提案者の選定.....	4
(5) 事業者の選定.....	4
5. 総合評価点の内容.....	5
(1) 配点方針	5
(2) 技術評価点の算出.....	5
(3) 価格評価点の算出.....	7
(4) 総合評価点の算出.....	7

1. 本書の位置づけ

本事業者選定基準は、日向市（以下、「本市」という。）が設計・施工一括発注（DB）方式により発注する「日向市権現原浄水場更新事業」（以下、「本事業」という。）を実施する民間事業者（以下、「事業者」という。）の選定を行うための基準を定めたものであり、応募希望者を対象に交付する募集要項等と一体のものである。

2. 事業者の選定方法

本事業では、事業者による効率的・効果的なサービスの提供を実現するため、事業者の選定にあたっては事業者の有するノウハウや創意工夫を総合的に評価することが求められる。そのため、事業者の選定方法は、提案価格と施設整備に関する技術提案内容を総合的に評価する公募型プロポーザル方式で実施するものとする。

優秀提案選定のための審査は、公平性を確保するとともに、客観的な評価等を行うために設置している「日向市権現原浄水場更新事業 事業者審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）において行う。

3. 事業者選定の手順

本事業における事業者選定の手順は、次のとおりである。

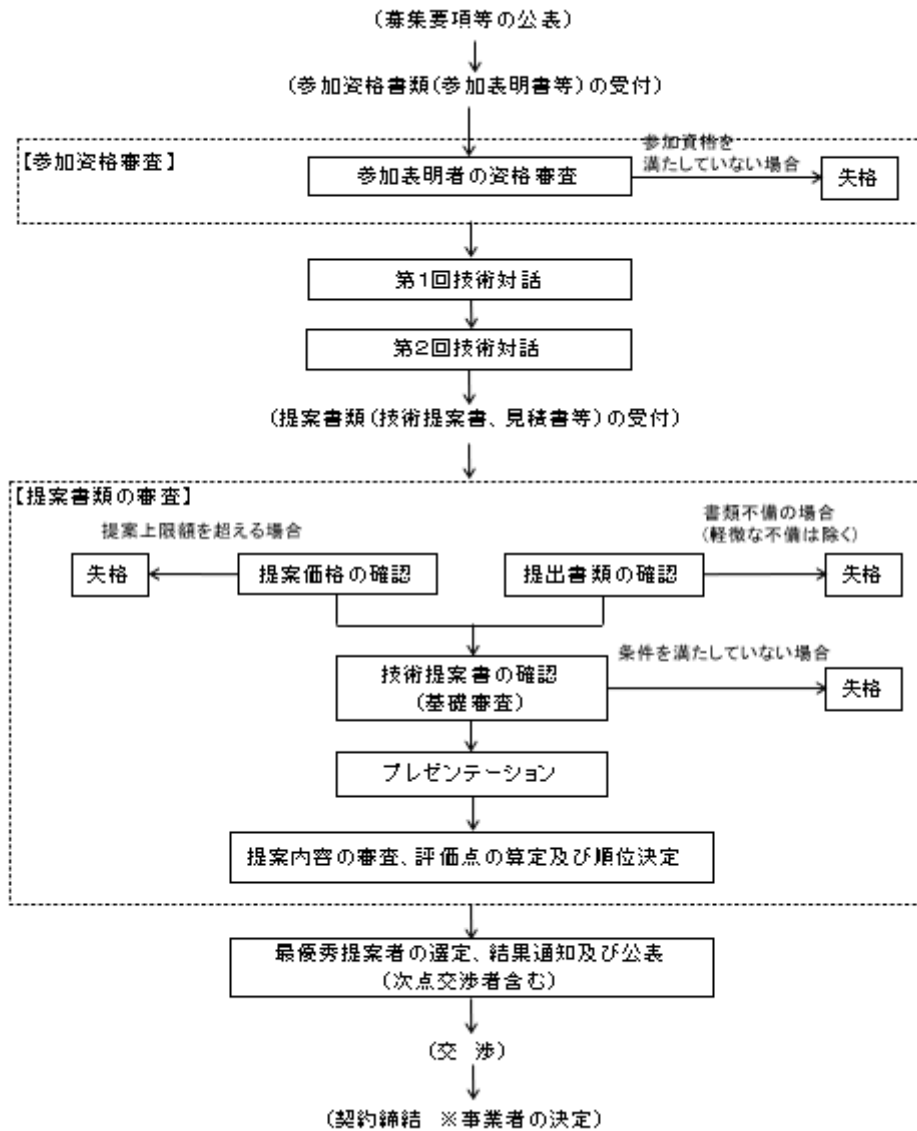


図1 事業者選定のフロー

4. 各審査の内容

(1) 参加資格審査

参加資格審査では、応募者から提出された参加表明書に基づき、応募者が参加資格要件を満たしているかを確認する。参加資格要件を満たしていない場合、当該応募者は失格とする。

ア 提出書類および参加資格保有の確認

本市は、応募者から提出された参加資格確認申請書及びその添付書類について、募集要項にて求めた提出書類が全て揃っていることを確認する。書類不備がある場合は失格とする。ただし、軽微なものについてはこの限りではないこととし、追加の提出を求める場合がある。

(2) 技術対話

本事業に対する本市の求める要求事項等について、応募者の理解度を測り、それを深めることで、本市の意図する技術提案を得ることを目的として、本市と応募者の間で技術対話を実施する。技術対話は、応募者が参加資格要件を満たすことが確認された後、提案書類を提出するまでの間に、2回まで実施を希望することが出来ることとし、技術提案書作成時の不明点等について質疑応答を行う。

(3) 提案書類の審査

提案書類の審査では、提出書類と提案価格を確認した後、基礎審査及び提案内容の審査を行う。基礎審査において、応募者の提案内容が要求水準を満たしていない場合、提案価格の算出根拠が不明瞭な場合及び各提出資料と整合が図られていない場合において、当該応募者は失格とする。

ア 提出書類の確認

本市は、応募者に求めた提出書類が全て揃っていることを確認する。書類不備がある場合は失格とする。ただし、軽微なものについてはこの限りではないこととし、追加提出を求める場合がある。

イ 提案価格の確認

本市は、応募者が提出する提案価格書に記載された提案価格が、提案上限額以下であることを確認する。提案上限額を超える場合は失格とする。

ウ 基礎審査

本市は、提案価格が提案上限額以下である応募者を対象として、提案書類について以下を確認する。これらの条件を満たしていない場合は失格とする。

(7) 要求水準達成の確認

提案内容が要求水準書に定められた要求水準を満たしていること。

(4) 提案価格の算出根拠の確認

提案価格の算出根拠が明示され、各提出書類と整合が図られていること。

エ プレゼンテーション

提案内容の正確な把握及び疑問点の確認のため、応募者によるプレゼンテーションを実施し、審査委員会によるヒアリングを行う。

オ 提案内容の審査

審査委員会は、提案書に記載された提案内容を審査し、技術提案内容を得点化した「技術評価点」と提案価格を得点化した「価格評価点」を算出する。なお、提案内容の審査は応募者によるプレゼンテーションを含めて評価する。

カ 総合評価点の算定

技術提案内容を得点化した「技術評価点」と提案価格を得点化した「価格評価点」を合計し、「総合評価点」を算出する。

(4) 最優秀提案者の選定

審査委員会は、総合評価点が最も高い提案を行った応募者を、最優秀提案者として選定する。

なお、総合評価点が最も高いものが2者以上あるときは、価格評価点が最も高い（提案価格が最も低い）ものを最優秀提案者として選定する。提案価格が同額の場合は、審査委員会委員による投票を行い、最多得票者を最優秀提案者として選定する。

また、参加者が1者の場合には、提案内容の妥当性を評価し、優先交渉権者の決定を行う。

(5) 事業者の選定

本市は、審査委員会の審査結果を基に事業者（優先交渉権者）を選定する。

交渉の結果、その他の理由等により、優先交渉権者と事業契約を締結することができない事由が生じた場合は、次点交渉権者（優先交渉権者の次点となる応募者）と事業契約の締結に向けた交渉を行うものとする。なお、次点交渉権者以降の交渉順は、選定結果の上位順に行うものとする。

5. 総合評価点の内容

(1) 配点方針

技術評価点と価格評価点の配点割合は、8:2とする。

点数は、技術評価点 800 点、価格評価点 200 点とする。これらを足し合わせた総合評価点は 1,000 点となる。

(2) 技術評価点の算出

技術評価点は 800 点満点とし、次の計算式により算出する。

$$\text{技術評価点 (800 点)} = \text{基礎点 (400 点)} + \text{加算点 (400 点)}$$

基礎点については、基礎審査を合格した提案に 400 点を付与する。

また加算点については、別紙に示す評価項目ごとの配点に対する係数を乗じて算出し、その合計を技術評価点とする。算出結果は、小項目毎に小数点第二位を四捨五入する。

ア 評価項目及び配点

技術評価点の算出において、技術提案内容の評価項目及び配点は、**表 2** のとおりとする。

イ 得点化方法

表 2「技術提案内容の審査項目と配点」に示す評価項目ごとに評価を行い、**表 1**「技術提案内容の審査項目の得点化方法」に示す 3 段階評価による得点化方法により得点を付与する。

表 1 技術提案内容の審査項目の得点化方法

評価区分	評価基準	得点化方法
A	実現性が具体的で内容が非常に優れている	配点×1.00
B	部分的に優れている点が認められる	配点×0.5
C	要求水準どおりである	配点×0

技術評価点の算出方法は以下のとおりとする。

- ① 小項目ごとに審査委員全員の評価点数を平均し、小数点第二位を四捨五入したものを当該小項目の得点とする。
- ② 全ての小項目（小項目がないものは中項目）の得点を合計したものを加算点とする。

表 2 技術提案内容の審査項目と配点

別紙 技術評価の視点		具体的評価方法		
評価項目 (大項目／中項目)		評価項目 (小項目)	評価の視点	配点
1. 事業全体に関する事項				
1－1 実施計画に対する提案	①業務実施体制	●安定的な事業運営を実施するための構成企業の配置人員や実績等について、提案内容と具体性を評価する。	100	10
	②全体配置計画	●施設、設備、配管等の配置と設置高の考え方について、各施設の適切運転や維持管理性などを考慮し、提案内容と具体性（実現性）、及び見学者対応等の付加価値を評価する。		20
	③施工計画（スケジュール）	●実効性の高い運転切替計画を遂行するための施工程度について、提案内容と具体性を評価する。		20
	④維持管理しやすい浄水場	●運転管理の容易性や将来の施設更新を考慮した維持管理しやすい施設について、提案内容と具体性を評価する。		10
1－2 地域貢献に関する提案	①地域経済への貢献	●地元企業における参画企業数（構成企業や協力企業）について評価する。 ●地場事業、地元産品の活用に関する提案数について評価する。		40
2. 設計に関する事項（強靱性の高く、安全性・維持管理性高い浄水場を目指して）				
2－1 調査業務に関する提案	①事前調査	●提案する設計、建設業務に必要な調査業務の実施項目や対象範囲、及び方法（より精度の高い方法など）について、手戻りの少ない実施内容であるかを評価する。	130	20
2－2 施設設計に関する提案	①浄水施設計画	●原水水質や水量の変動に対して、浄水水質要求水準を安定して満足できる整備内容（規模・能力、信頼性）について、提案内容と具体性を評価する。 ●地震等の自然災害に対し強靱性の高い施設であり、かつ想定外災害時の対応施策としての提案内容について具体性を評価する。		30
	②薬品注入設備計画	●原水水質の変動への考え方（薬品の種類、制御範囲、制御方法等）や、維持管理性を考慮した設備配置の最適化について、提案内容と具体性を評価する。		20
	③送水計画	●安定的な配水池への送水（取水制限、停止）計画を行うために配慮した事項について、提案内容と具体性を評価する。		20
	④受変電設備	●将来における設備更新を踏まえた機器配置に関する提案内容について、具体性及び妥当性並びに優れた提案を評価する。 ●工事期間中における既設施設の運転に影響を与えない切替方法について、具体性及び妥当性並びに優れた提案を評価する。		20
	⑤設備停止リスクの低減	●広域災害や設備故障等等、設備停止リスクの低減対策について、提案内容と具体性を評価する。		20
3. 施工に関する事項（安定的な事業の推進）				
3－1 品質確保に関する提案	①品質確保・長寿命化	●土木・建築・機械・電気各工種における品質確保や長寿命化に対する配慮について、提案内容と具体性を評価する。	70	20
3－2 安全性に関する提案	①事故防止	●全体事業期間が長期間である本工事における既設運用への安全性の確保方法について、提案内容と具体性を評価する。		10
	②水処理の安全性（切替時）	●全ての施設（土木、建築、機械、電気計装設備）を対象として、浄水場全体の試運転による性能確認作業と既存施設からの切替えに関する提案内容と具体性を評価する。		20
3－3 周辺への配慮に関する提案	①周辺住民への配慮	●撤去工事も含む長期の工事期間における周辺住民への配慮について、提案内容と具体性を評価する。		20
4. 運転・維持管理に関する事項（効率性の高い浄水場）				
4－1 運転管理業務における提案	①運転管理業務	●経済性と環境負荷低減を両立する効率性に優れた施設とするために配慮した運転方法について、提案内容と具体性を評価する。	100	20
4－2 保守点検・修繕計画に関する提案	①保守点検、修繕計画	●日常及び定期点検・保守点検等、計画的修繕計画、故障等発生時における対応等について、提案内容と具体性を評価する。		30
	②メンテナンスコスト	●ライフサイクルコストを踏まえた将来のメンテナンスコスト（修繕費等）について、その根拠と価格を評価する。		30
4－3 緊急時対応に関する提案	①緊急時の対応	●災害時の対応や応急給水拠点としての提案内容と具体性を評価する。		20
評価項目（全4項目【大項目】）による技術評価点 合計点				400

(3) 価格評価点の算出

価格評価点は 200 点満点とし、価格評価点は、次の算出式により算出する。評価基礎価格については、審査公表時に公表する。また調査基準価格を下回る提案があった場合においても、価格提案評価は 200 点を上限とする。

なお、価格評価点は、小数点第二位を四捨五入して求める。

$$\text{価格評価点 (200 点満点)} = \text{配点 (200 点)} \times (\text{評価基礎価格} \div \text{当該提案価格})$$

(4) 総合評価点の算出

各応募者の技術評価点と価格評価点の合計点数を「総合評価点」として算出する。総合評価点は、以下の算定式により算出する。

$$\text{総合評価点 (1,000 点満点)} = \text{技術評価点 (800 点満点)} + \text{価格評価点 (200 点満点)}$$

ア 最低総合評価点

提案事業者が 1 事業者の場合、総合評価点の最低点は、600 点 (1,000 点×0.60) とする。600 点以下の場合には失格とする。